

教科名	数学	科目名	数学Ⅲ	学年	2年	単位数	1
教科書	新編数学Ⅲ		副教材	基本と演習テーマ数学Ⅲ			

1 科目の目標

関数、極限について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

2 学習について

- ① 授業の持ち物について：教科書、問題集、ノート
- ② 予習の仕方について：前もって、次回授業の教科書2ページ程度を読んでおきましょう。
- ③ 授業の受け方について：<授業では、授業内容が「わかる」ことを心がけましょう。>
- ア 授業は集中し、先生の説明をよく聞いて、板書を早くノートに正確に写すことを心がけましょう。
- イ 教科書の練習問題は、自分の力で解くように心がけましょう。また、先生の解答で必ず答え合わせをして、理解できた点とそうでない点を明確にしましょう。
- ④ 家庭学習の仕方について：<家庭学習では、「わかる」から「できる」にまで理解を深めることを心がけましょう。>
- ア 授業で習った箇所の教科書を読み返してみよう。その際、公式や重要事項等は、もう一度ノートに書き写してみよう。
- イ 宿題（問題集）は、出された当日に必ず自分の力で専用ノートに解答し、答え合わせをしておくようにしましょう。
- ウ 宿題（週末課題）は、週末土日課題ですので、必ず自分で解いて答え合わせをして週明けの最初の授業に提出しましょう。

3 学習計画

		単元名（学習項目）	学習内容（ねらい）
前期	前期 中間	<関数>	いろいろな関数について理解し、関数についての理解を深めそれらを具体的な事象の考察に活用できるようにする。
	前期 期末	<極限> 数列の極限	いろいろな数列の極限について理解し、その有用性を認識する。
後期	後期 中間	<極限> 関数の極限	いろいろな関数の極限について理解し、その有用性を認識する。
	学年 末	<極限> 三角関数の極限 関数の連続性	関数値の極限の考えを用いて関数の連続性について考察できるようにする。

4 観点別評価

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりして、極限を求める方法を考察することができるようにする。	数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。

5 評価方法

計35時間（50分授業）

上記の観点を踏まえ、定期考査、単元別パフォーマンス課題、宿題などの提出された課題、学習態度、振り返りシート等を以下の割合で総合的に評価する。

知識・技能…50% 思考・判断・表現…30% 主体的に学習に取り組む態度…20%

